

里地里山保全・再生の特征的取組 個票 A (対象地域の概況)

No. 96		刺巻水ばしょうの郷	生物地理区分		ミズナラ林	
			地域区分		中山間地	
所在地	都道府県	秋田県	地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	仙北市		4.低地	5.その他	
	集落名称等	刺巻集落	環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
				4.畑	5.小川・水路	6.ため池
				7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林
				10.その他		

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの :それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
水源涵養保安林	
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
<p>刺巻集落では、シンボルとなっている清流が、ハンノキ林に水ばしょうの群生する(3ha、6万株)刺巻湿原を通して下流のため池に流入する。</p> <p>湿原環境:水ばしょう、ザゼンソウ、カタクリ、</p> <p>田園環境:ホタル、岩魚、水ばしょう、ショウジョウバカマ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 写真集などの出版物がある 観光パンフレット等に写真が使用されている 風景探勝や撮影の来訪者が多い



写真の説明: 刺巻湿原の水ばしょう群生地



写真の説明: 子供たちによる湿原の清掃活動

No.96	刺巻水ばしょうの郷		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	秋田県		2.団体・企業・学校等
	市町村	仙北市		3.行政による支援施策の活用
集落名称等	刺巻(刺巻湿原)			4.多様な主体が参加・連携する組織体
				5.その他

取組主体	主な主体の名称	刺巻水ばしょうの郷環境保全グループ	
	その他の主体の名称	仙北市、田沢湖観光協会、町内会、親子会、水利組合ほか	
目的 :主 :その他	1.農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化(伝統的なものも含む)		
	対象・取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 刺巻地区では、住民が共同で河川や用排水路などの整備、草刈り等を行いながら、生活用水、農業用水の水源地である刺巻湿原の「刺巻水ばしょう群生地」の維持保全に取り組んできた。 1995(H7)年から毎年、春(4月上旬～5月初旬)に「水ばしょう祭り」を開催し、米や農産物の直売や刺巻湿原の案内を行ったり、秋の収穫祭では米や加工品のコンクールを行うなど、水ばしょうを通じて地域の活性化を図る。 2007(H19)年度から始まった「農地・水・環境保全向上対策事業」を活用し、「刺巻水ばしょうの里環境保全グループ」として(構成員64人、うち農家32人、非農家32人)これまで以上に水源地の環境維持と合わせ、景観形成に配慮しながら美しい農村風景保持に取り組んでいる。 「きれいな水が流れる地域」を目指して、地域全体で化学肥料や農薬の低減を図りながら有機農業を進めるなど、農産物や加工品への付加価値づくりを進める。 	
	支援措置	農地・水・環境保全向上対策事業(農林水産省)	
	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用		
	自然観察会	*	親子会による水質調査・小魚生息状況調査
	環境教育・学習活動	*	婦人会による環境教育(環境に優しい洗剤の使用や食用油の扱いなど)
	里地里山体験・環境保全	*	河川や用排水路の環境保全、水源地の森林整備
	農林業体験活動	*	修学旅行生の農業体験受け入れ
	エコツアー		
	その他		
4.野生動植物やその生息地の保全・管理			
取組内容	水ばしょう群生地の保全活動 ・湿原(ため池)の除草・清掃、アヤメの植栽 ・間伐材を再利用した遊歩道の整備(H21 農地・水・環境保全向上対策事業)		
5.地域の良好な景観の保全・修復			
取組内容	・道路・農道沿いや大沼周辺への桜やアジサイの植樹 ・花の植栽(春から秋にかけて、駅周辺や国道沿いに花のプランターを設置)		
7.その他			
取組内容	・水ばしょう祭り(4～5月)、収穫祭(11月)の開催、イルミネーション(12～1月)の実施 ・保全活動などの取り組みを紹介する広報誌「水ばしょう通信」を発行。		
連携・協働による取組内容・役割分担等	・地元組織(町内会、青年会、若者会、老人クラブ、親子会、婦人会、河川愛護会、水利組合)との協力:水質調査・小魚生息状況調査、河川や湿原の清掃活動、水源地や用排水路の清掃・除草、花の植栽、水ばしょう祭り・収穫祭の開催 ・関係機関(仙北市、田沢湖観光協会、田沢湖物産協会、仙北警察署田沢湖交番、JR田沢湖駅、羽後交通田沢湖営業所、国交省角館国道維持出張所):刺巻湿原の維持・保全、水ばしょう祭りや収穫祭の開催		
取組の特徴や強調したい点	「水ばしょうの郷」をシンボルに、安全で安心して食べられる農作物の生産・加工・販売を地域全体で実施するとともに、「水ばしょう祭り」を始め四季折々に訪れたいくなる癒しの場所づくりを進めることで、全国の人々との交流を深める。		

取組の概要	地域住民による水ばしょう群生地の維持保全と地域活性化の取り組み	課題グループ 農林業 野生生物 学習体験 仕組
事例の特性	地域コミュニティを通じた参加・協力体制(中山間地)	
取組の中で他の地域の参考となる点	生活用水、農業用水の水源地である水ばしょう群生地の維持保全に取り組んできた集落の住民が、「水ばしょうの里環境保全グループ」として、水源地の環境維持と合わせ、景観形成に配慮しながら美しい農村風景の保持を継続的に取り組んでいる。	

資料:「農林水産省平成20年度農林漁業現地事例情報 農山漁村地域活性化に向けた取組事例 - 農地・水・環境保全向上対策の実施、
 「刺巻水ばしょうの郷環境保全グループ」 http://www.maff.go.jp/j/finding/zirei/09_kassei/pdf/245.pdf
 写真:仙北市商工会 HP<http://www.haikara-kakunodate.com/mizukatakuri.htm>